

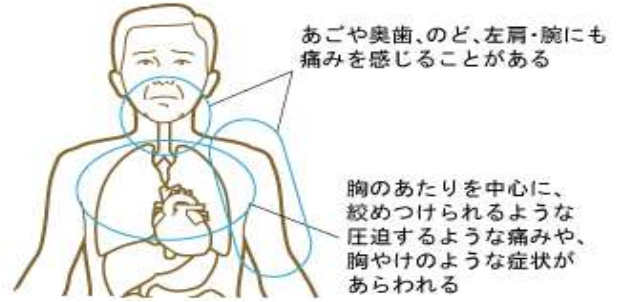
心エコーでわかる心臓病 No.1



心臓は、収縮を繰り返し、全身に血液を送るポンプの役割をしています。
生まれてから死ぬまで、年中無休で収縮し続けます。
心臓の元気がなくなると、命に関わる病気の可能性もあります。
命に関わる心臓病の中に、**狭心症**や**心筋梗塞**があります。

●狭心症や心筋梗塞の症状は？

- ・胸や背中での痛み
- ・胸の圧迫感・締め付け感
- ・息苦しさ
- ・冷や汗
- ・吐き気



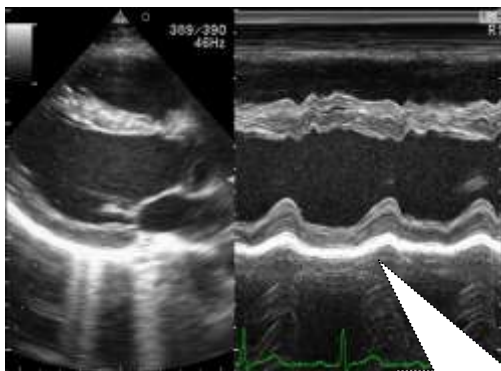
心筋梗塞の場合、死亡率は40%。そのうち70%は発作から1～2時間で亡くなる緊急を要する病態です。
狭心症の場合、緊急を要さないものもありますが、中には心筋梗塞に移行するタイプもあります。
知らず知らず移行しているケースもあります。

高血圧や**高脂血症**などがある方は、**狭心症**や**心筋梗塞**の**リスクが高い**といわれています。

●心エコーでは？

心筋梗塞は、心臓の壁の一部が動いていない状態です。
心エコーでは、リアルタイムに心臓の動きの変化を観察することができます。

《正常な心臓の縦断像》



例えば心臓のこの部分が動いていなかったら？

波打っているのは動いている証拠です。

波打たず平らなので、動いていない様子がわかります。

検査は痛みも無く、15～20分程度で終わります。

超音波を使うので、体に害はありません。

- ・胸の痛みなどの症状がある方
- ・少し動いただけで息切れがする方
- ・高血圧、高脂血症など、心臓病のリスクが高い方

命に関わる心臓病かもしれません！！
心エコー検査をお勧めします。
お早めに主治医にご相談ください。

